



公共施設のあり方について考えてみませんか

～次世代に安全・安心な公共施設を引き継ぐために～

問行政経営課・内線2702

気温の低い日や日当たりの悪い場所での道路への水まきは、凍結して転倒事故などの原因になります。

大変危険ですのでやめましょう。問道路課維持係・内線2401

みんなで考える!

ハコモノ施設再編ルール会議

～公共施設再編ワークショップ～

市は、社会状況が大きく変わる中で、公共施設をどのように再編したらよいか、ルールを考えるワークショップを開催します。



このワークショップでは、8月に実施したアンケート結果等をもとに公共施設の身近なテーマについて話し合い、皆さんからの率直なご意見を、今後、公共施設再編の取り組みの参考とさせていただきます。

次世代を担う子どもや孫たちに、大きな負担をかけずに、安全・安心な公共施設を引き継ぐために一緒に考えてみませんか。直接会場へ(保育を希望する方は各開催日10日前までに電話で行政経営課へ)時・場下表の通り定各25人(先着順)

日時	場所
1月30日(土) 午前10時～正午	西砂学習館第1教室
1月30日(土) 午後2時～4時	幸学習館第1教室
2月7日(日) 午前10時～正午	女性総合センター第2学習室
2月7日(日) 午後2時～4時	砂川学習館第1教室
2月20日(土) 午後2時～4時	たましんRISURUホール 第6・第7会議室

各回は同じ内容です

問行政経営課・内線2702

公共施設あり方方針「老朽化する公共施設は今後どうなるのか」

市の公共施設の多くは昭和40年代から50年代に整備され、老朽化が問題となっています。

一方、人口減少や少子高齢化に伴い、市税収入の大幅な減少が見込まれるなど、全ての施設を改修、建て替えることは困難な状況にあります。

市は平成26年11月に「公共施設あり方方針」を作成し、持続可能な公共施設のあり方について3つの大方針と、それを実現するための4つの方策を定めました。

●3つの大方針 ▼公共施設の
スリム化と機能(役割)重視の再編・転換 ▼地域の核となる公共施設へのさらなる展開 ▼効率的

な公共施設の運営

●4つの方策 ▼公共施設の面積総量の圧縮 ▼機能の多機能化

複合化、集約化による既存施設(ストック)の有効活用・多目的活用 ▼地域特性・人口特性に応じた機能の再配置 ▼効率的な管理運営

現在、市民の皆さんのご意見を聞きながら、公共施設再編の検討を進めています。

市民の皆さんに聞きました たぐ公共施設に関するアンケート結果

公共施設の再編に向けて、施設の利用状況や意向を調査するため、無作為に抽出した2000人の市民の方に公共施設に関するアンケートを8月に実施しました。この調査で670人の方から回答をいただきました。

で、その結果の一部をご紹介します。

なお、アンケート結果は市ホームページ、市政情報コーナー(市役所3階)、各市立図書館でご覧になれます。

●公共施設利用状況 回答者の76%が公共施設を利用しており、利用施設は図書館、市役所、たましんRISURUホール、市民体育館の順に多く、利用回数は半年に1回程度、交通手段は自転車、利用時間は1時間以内が最も多い結果となりました。

●今後の取り組みに対する意向 公共施設を取り巻く状況に対する認識、方針の取り組みについての意向などを調査しました(図1～6参照)。

アンケート結果は、公共施設再編の取り組みに活用していきます。

図5 地域の核となる公共施設の姿について

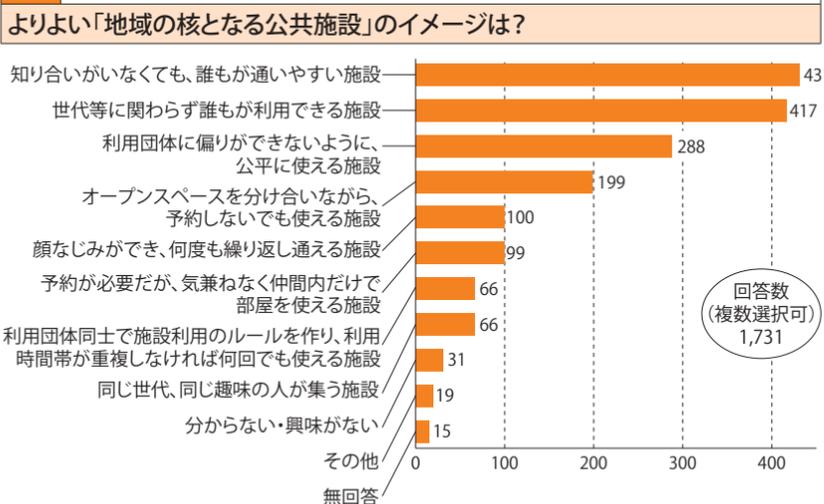


図6 再配置の基準や範囲について

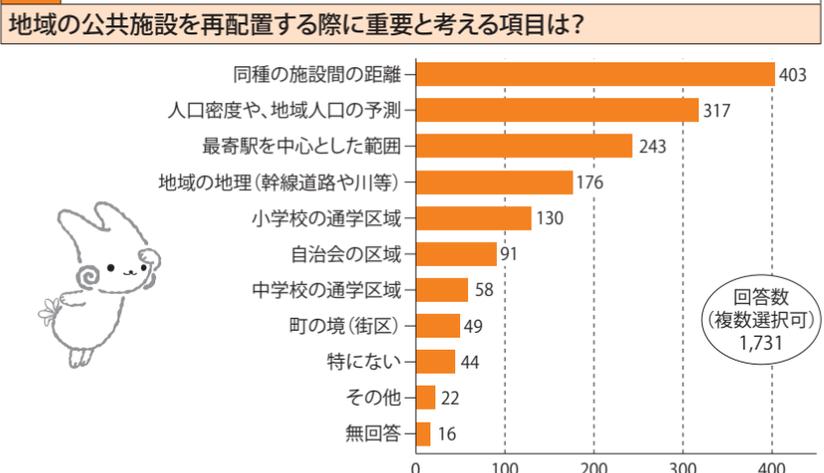


図3 面積のスリム化について

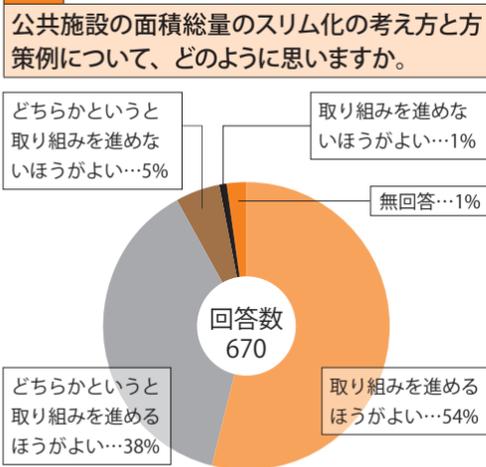


図1 老朽化の認識について

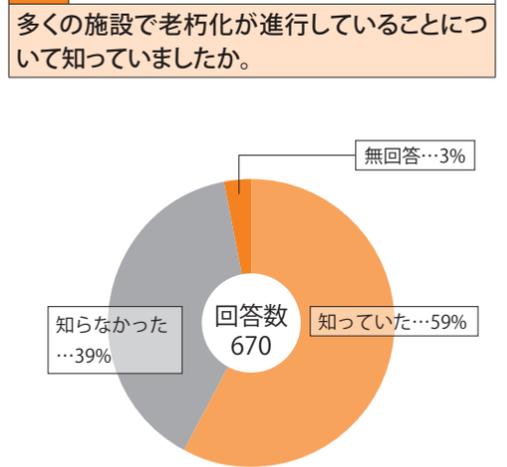


図4 機能重視の再編について

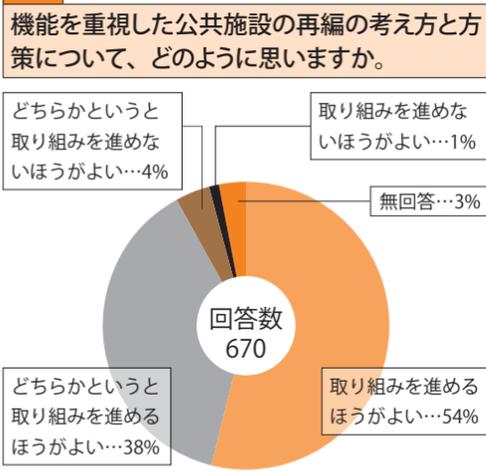


図2 公共施設あり方方針について

